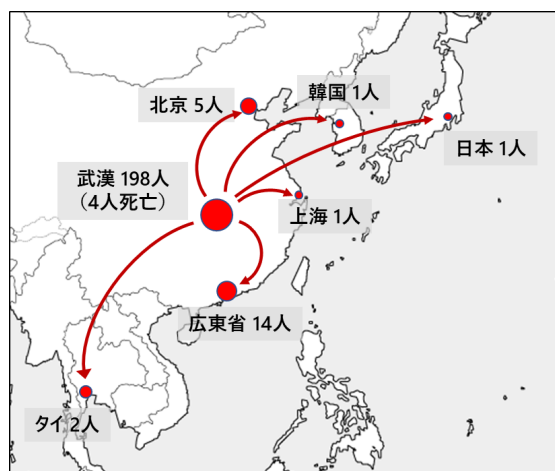


中国で発生した新型コロナウイルス(2019-nCoV)肺炎について (第2報)

中国湖北省武漢で発生した新型コロナウイルスによる肺炎は、次第に患者数が増加し、中国内外にも拡大しています。今週末から中国の春節（旧正月、1月24日～1月30日）が始まり、多くの中国の人が大阪を中心とする関西に訪問するため、一層の注意が必要です。

1. これまでにわかっている情報（1月21日現在）

- ①患者数：中国218名（武漢市198名、北京市5名、広東省14名、上海市1名）、タイ2名、日本1名、韓国1名
- ②重症度：死亡者4名、重症患者9名、退院25名



2. 推定患者数の研究

国外での患者が検討時点では3名発生しており、これらの患者の発症日は1月5日から8日の間にあったこと、および国際線の渡航者数（3,300人/日）と国際空港の利用圏の人口1,900万人から、実際の患者数は1,723(95% 信頼区間：427 - 4,471)名という推定もなされています。

(Imperial College London : <http://www.imperial.ac.uk/mrc-global-infectious-disease-analysis/news--wuhan-coronavirus/>)

3. 現時点での考え方

- ①ヒト→ヒト感染でも広がっている（複数の医療スタッフへの感染を確認）
- ②患者数は発表より多い可能性がある（軽症例の存在）
- ③死亡者は高齢者かつ重い基礎疾患のある患者

と想定されます。患者数1,700人という推定を基に考察すると、致死率は約0.1%となり、季節性インフルエンザと同等となるため、病原性はSARSやMERSほど高くはなく、高齢者や基礎疾患の重篤な人が重症化するリスク因子となっています。

4. 感染対策

感染対策としては、インフルエンザと同じ飛沫および接触感染対策であると考えられ、

- ①手指衛生（汚染された手指で鼻や口の粘膜を触れて感染するため）
- ②マスクと咳エチケット（飛沫感染予防）

の徹底をお願いします。



中国に訪問歴のある、発熱および呼吸器症状を呈する患者さんが受診された場合には、感染制御部へご連絡ください。